

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 7 1 号
件 名	新潟市議会議員定数削減効果による報酬額の削減について
要 旨	<p>現在の新潟市の財政は、BRT連節バス事業や水と土の芸術祭等の影響により、約1兆円の借金を抱え、また基金残高が10年前の400億円から10分の1の40億円の激減し、赤字倒産一步手前の財政状態になっています。</p> <p>新潟市もあすは、財政破綻した夕張市に次ぐ第二の夕張市に転落してしまいそうに思えます。</p> <p>1兆円の借金は、毎年100億円を返しても100年かかる莫大な金額です。これは80万市民1人当たり125万円もの借金です。</p> <p>この赤字財政のツケは、私たちと次世代の子々孫々に暗い影を落とすことになり、財政再建は急がなくてはならない課題です。</p> <p>一例として新潟市議会の年間経費を抑えるために、①議員定数の削減、②議員報酬を引き下げる方法もあります。</p> <p>議員定数削減（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市有権者数 67万 5,659人（平成29年6月1日現在） ・議員定数 51人 ・議員1人当たりの有権者数 1万 3,248人 <p>これを議員1人当たりの有権者数を20%ふやして1万 5,897人にとすると、必要議員定数は42.5人です。これを43人とします。51人－43人＝8人の議員定数が削減できます。</p> <p>これをもとに削減できる金額を計算すると、 （議員報酬 1,029万 6,600円＋政務活動費 180万円）×8人 ＝1,209万 6,600円×8人 ＝9,677万 2,800円、答えとして9,677万円の削減ができます。 よって、議員定数の削減を図ることを陳情いたします。</p>
付 託 年月日 委員会	平成 29 年 12 月 13 日 議会運営委員会
受 理	平成 29 年 12 月 5 日 第 4 1 8 号